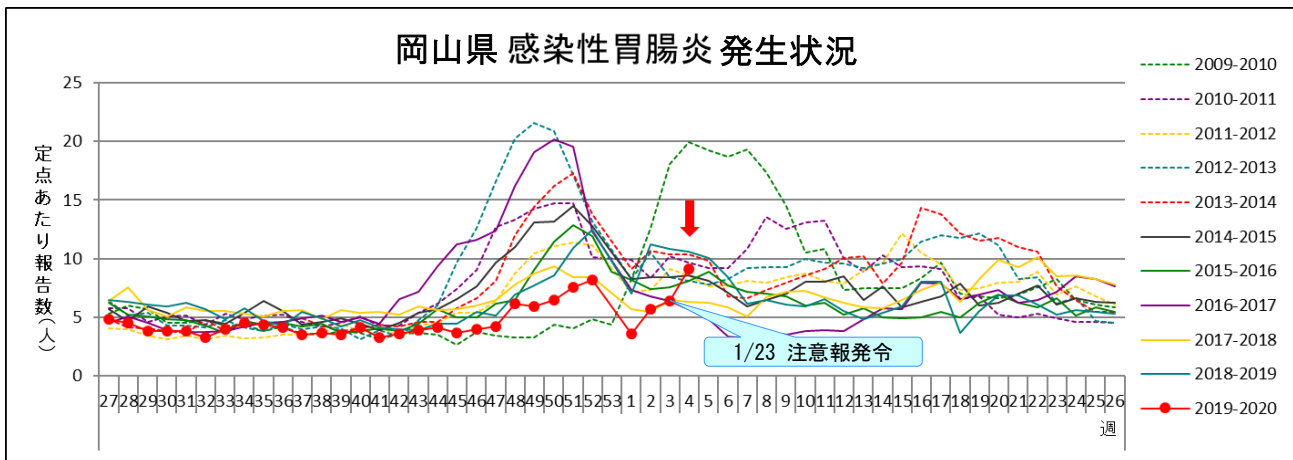


# 感染性胃腸炎週報 2020年 第4週 (1月20日～1月26日)

**岡山県は『食中毒(ノロウイルス)注意報』発令中です**

## ➤ 岡山県の流行状況

○感染性胃腸炎は、県全体で492名(定点あたり9.11人)の報告がありました。(54定点医療機関報告)

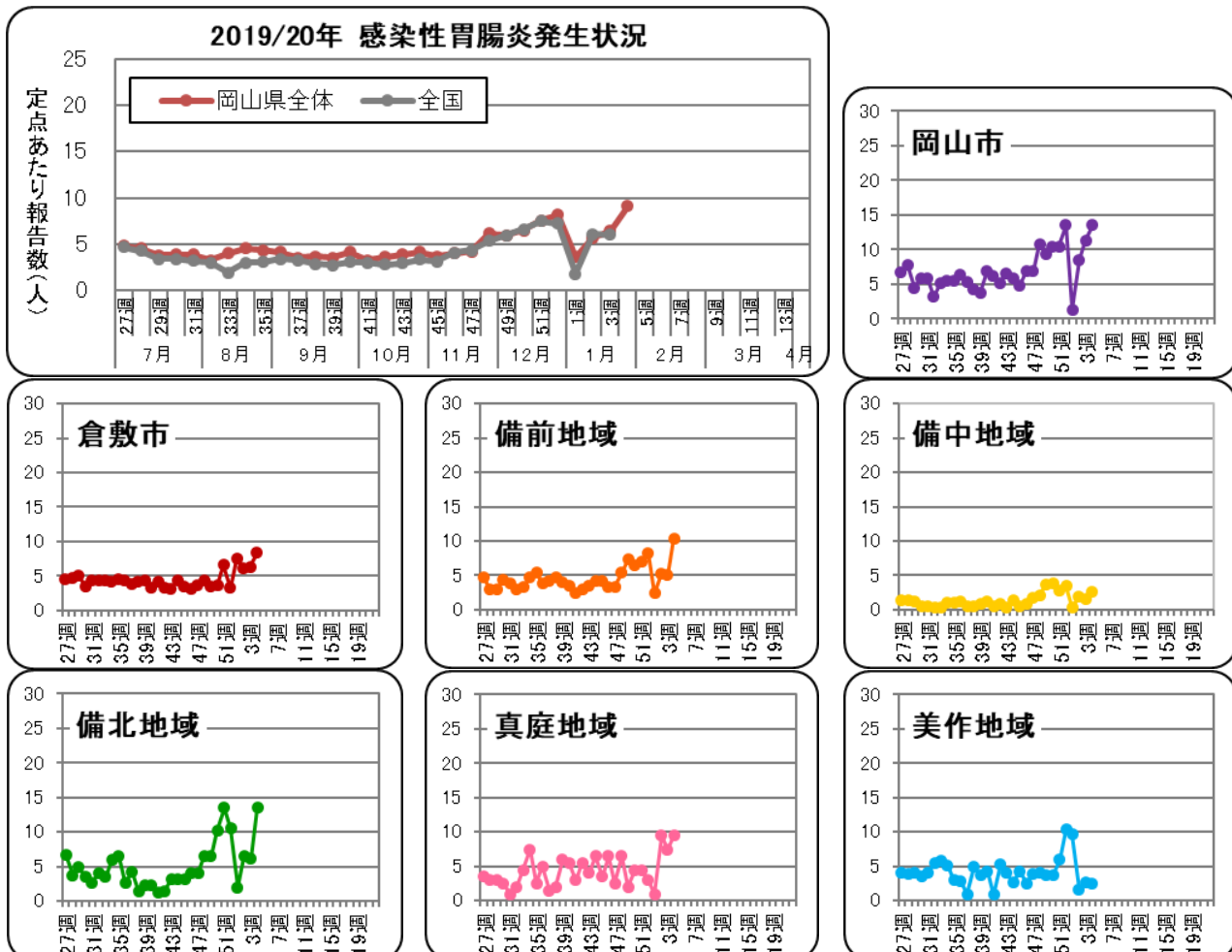


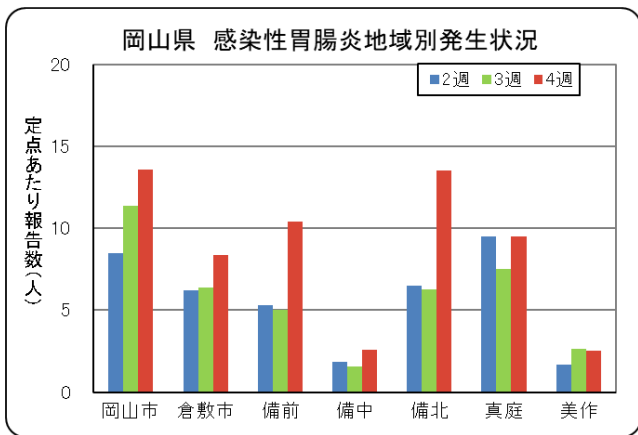
※感染性胃腸炎は、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

感染性胃腸炎は、県全体で492名(定点あたり6.41→9.11人)の報告があり、前週から増加しました。

冬の感染性胃腸炎の原因は、ノロウイルスなどのウイルスによるものが多いと言われています。手洗いの徹底や、下痢便・おう吐物の適切な処理など、感染予防と拡大防止に努めてください。特に乳幼児や高齢者は、おう吐や下痢による脱水症状を起こすこともありますので、体調の変化に注意し、早めに医療機関を受診しましょう。

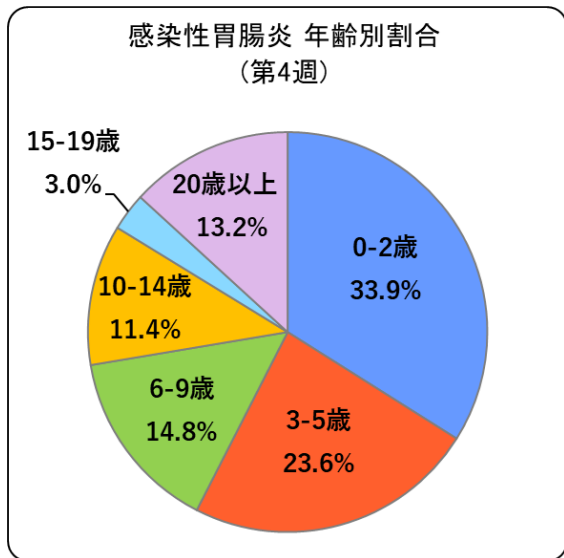
## ◆地域別・年齢別発生状況





レベル3		レベル1	報告なし
開始基準値	終息基準値	基準値	基準値
20	12	0< 20未満	0

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。



地域別では、岡山市（13.57人）、備北地域（13.50人）、備前地域（10.40人）の順で定点あたり報告数が多くなっています。第4週年齢別割合では、0-2歳 33.9%、3-5歳 23.6%、6-9歳 14.8%の順で高くなっています（小児科定点（54 定点医療機関）からの報告による）。

## ◆◆ ノロウイルスによる感染性胃腸炎に気をつけましょう ◆◆

### <予 防 方 法>

#### 1. 最も大切なことは、手を洗うことです。

排便後や、調理・食事の前には、石けんと流水で十分に手を洗いましょう。

#### 2. 処理をする人自身が感染しないように気をつけましょう。

おう吐物や下痢便にはウイルスが大量に含まれています。処理をするときは、使い捨ての上着や、マスク、手袋を着用し、おう吐物、下痢便をペーパータオル等で静かに拭き取りましょう。拭き取った後は、**次亜塩素酸ナトリウム**※で浸すように床を拭き取り、その後水拭きをしましょう。また、処理をした後はしっかりと流水で手を洗いましょう。

#### 3. おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、**85℃で1分間以上の熱水処理または次亜塩素酸ナトリウム**※での消毒が有効です。

おう吐物や下痢便で汚れた衣類は、ウイルスが飛び散らないように汚物を除去し、熱水処理または**次亜塩素酸ナトリウム**※で消毒をしましょう。

#### 4. 食品は、中心部まで十分に加熱しましょう。(中心部を **85～90℃で90秒間以上**)

二枚貝の生食を控えましょう。中心部までしっかり加熱すれば安心です。

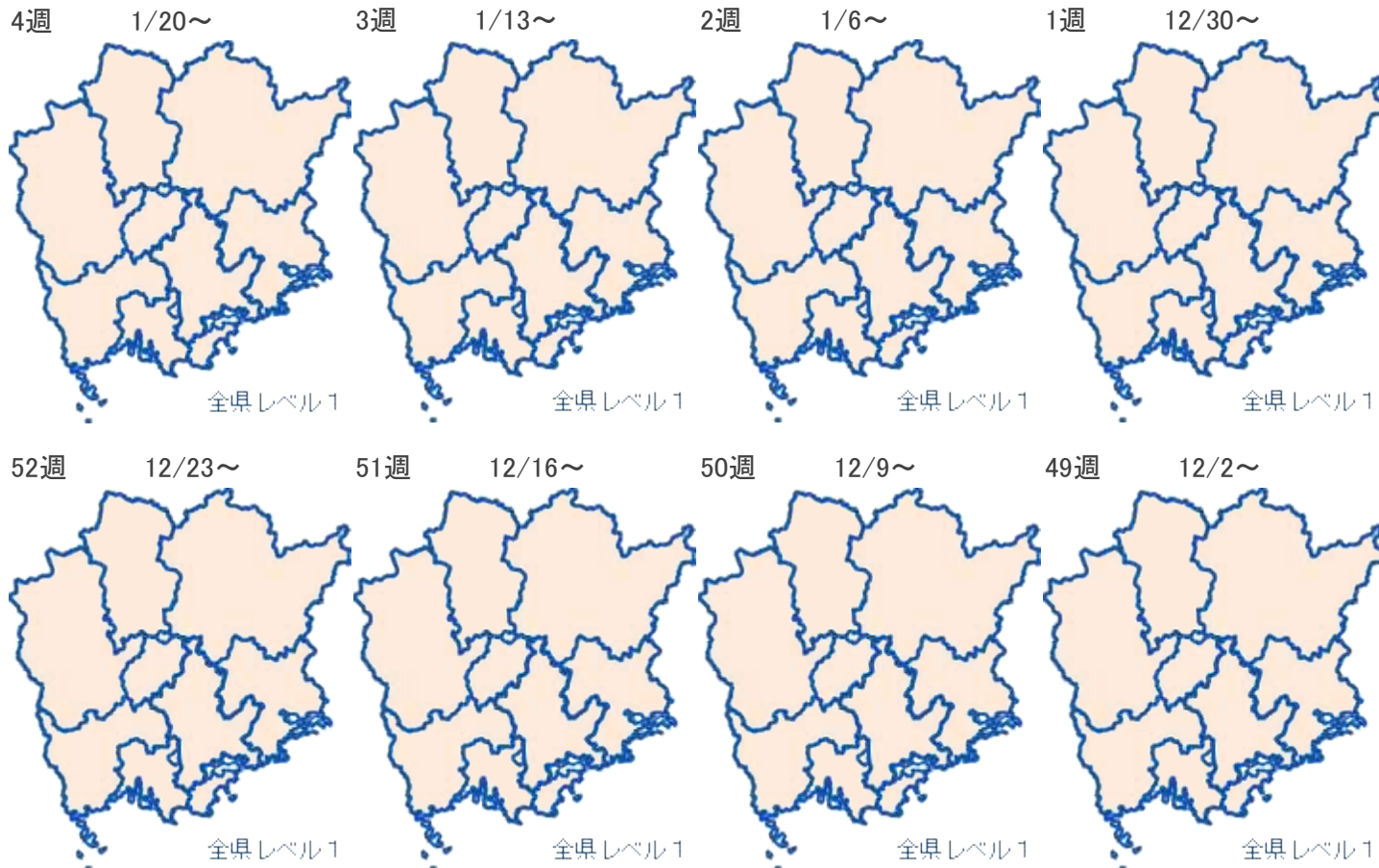
※家庭用塩素系漂白剤でも代用可。なお、塩素系漂白剤を使用する際には、「使用上の注意」を確認しましょう。また、アルコールの効果は低いとされています。



# 岡山県地区別 感染性胃腸炎感染症マップ 2020年 4週

2020年1月28日

15:05:50



## 感染性胃腸炎

レベル3		レベル2		レベル1		報告なし	
開始基準値	終息基準値	基準値		基準値		基準値	
20	12			0 < 20 未満		0	

レベル3の開始基準値を一度超えると、終息基準値より下がらないとレベル3が継続されます。